



総務省

Ministry of Internal Affairs
and Communications

地域人材ネット

「100円商店街」「クーポンリーダー」「いすー1GP」など、
様々なソフト事業による商店街活性化

齋藤 一成 (さいとう かずなり)

特定非営利活動法人 アンブ(NPO-AMP) 理事長



○ 登録者情報

所在地

山形県新庄市

略歴

特定非営利活動法人アンプ(NPO-AMP) 理事長
平成18年度 がんばる商店街77選(経済産業大臣表彰)
平成19年度 ストップ温暖化一村一品大作戦(環境大臣表彰)
平成22年度 地域づくり総務大臣表彰(総務省)
平成27年度 まちづくり国土交通大臣表彰(国土交通省)

内閣府 地域活性化伝道師(平成27年～ 100円商店街事業の普及及びアフターフォロー)
中小企業庁 ミラサポアドバイザー(平成27年～ 100円商店街事業の普及及びアフターフォロー)
(独)中小機構 商業活性化アドバイザー(平成20年～ 100円商店街事業の普及及びアフターフォロー)

著書・論文等

100円商店街・バル・まちゼミ お店が儲かる街づくり(学芸出版)(共著)
100円商店街の魔法(商業界)
平成29年度より、茨城県大洗町に「総務省 外部専門家派遣制度」にて、商店街活性化に対する支援を実施。
平成30年度より、茨城県大洗町と宮城県大崎市に対し、総務省外部専門家派遣制度を活用し支援を行う。

○「100円商店街」「クーポンダー」「いすー1GP」など、様々なソフト事業による商店街活性化

取組の内容

NPO-AMPが実施している商店街活性化策「100円商店街」は、店舗に眠っている商品や提供するサービスの一部などを100円で提供し、目玉商品を用意することによる入店のきっかけを作ることで、他の商品の購入を促し、また店主と客との人間関係の構築を促し、店舗の周知、魅力発信、またリピーターの増加などを狙っている。新庄市発祥のこの手法は今や全国300以上の商店街に広がりを見せ、商店街活性化の3種の神器に数えられている。

また、事務イスを使って商店街に設置したコースを2時間で何周走れるかを競う耐久レース「いすー1グランプリ」や、これまで入店の機会がなかった店舗にも気軽に入店でき店舗の魅力を知ってもらうイベント「新庄バル街」、高校生が1枚1枚手書きで作成した日めくりカレンダーの1枚ごとに商店街参加店のクーポンが付いてくる「クーポンダー」などを実施し、商店街利用の機会創出、魅力創出に向け努めている。

実績

100円商店街事業については、全国の124自治体320商店街で導入されている。
その全国各地の開催状況の平均として、1回の開催による集客数は約1万人。
また来街者の商店街における平均購買額は約2千円を記録している。
しいては、1回の開催によって、当該地には即日2千万円という経済効果を生むことが確認されている。

さらに、来街者の満足度は常に90%を超えており、地域住民の評価もかなり高い。

工夫した点や苦労した点

単なる集客力を発揮するイベントではなく、経済効果を生む事業でなければ本当の商店街の活性化とは言えないため、いかにして経済効果を高めていくかが最も苦労した。

ひとことPR

人口減少などで大型店が撤退したあと、商店街は地域に住む方々の重要な生活基盤になります。環境問題と同じように、気が付いてからでは遅いのです。一緒に、商店街の再生を目指しましょう！

○ 参考

取組の分類

地域人材ネットでは、登録者の取組を11の政策分野に分類しています(複数の分野に該当するものもあります)。

	1	地域経営改革	○	7	まちなか再生
	2	地場産品発掘・ブランド化		8	若者自立支援
	3	少子化対策		9	安心・安全なまちづくり
	4	企業立地促進		10	環境保全
	5	定住促進		11	その他
	6	観光振興・交流			

関連ホームページ

NPO-AMPホームページ	http://www.npo-amp.com/
---------------	---

連絡先

メールアドレス	info[アットマーク]npo-amp.com	その他	
---------	-------------------------	-----	--

※メールを送る際には[アットマーク]を『@』に変えてください。

戻る